

社保シリーズ

# う蝕処置・除去

7

社保研究部

今回は、協会に寄せられた質問で、比較的多かった除去、う蝕処置の関係について説明する。

昨年4月の診療報酬改定で、従来の「普処」が患者にとってわかりにくいとの理由から、う蝕処置と咬合調整に区分けされた。

う蝕処置（1歯1回につき16点）は、ほぼ暫間充填に限られ、以前は算定できていた①脱落した歯冠修復物を再装着する場合の軟化象牙質の除去（装着料に含まれる）②歯冠修復物または、補綴物の除去後に行う軟化象牙質の除去（除去料に含まれる）——がともに算定できなくなった。

除去（1歯につき15点、困難30点、ポスト50点）で注意しなければならないのは、同一歯牙に対する2種類の除去料の算定である。以前は摘要欄に「〇〇異日除去」と記載すれば、両方とも算定できていたが、これが不可になった。例えば、同一歯のFCKとポストを同一初診内に除去した場合、一連の行為として主たる除去料しか算定できない。ただし、根管内異物除去や歯の破切片除去は、同一歯に対して行っても別途算定できる。

### 〈症例解説〉

症例は、6のPer処置を優先し、後日に改めて充填等の処置を進めたいケースで、初日の覆罩後に暫間充填している。この場合は、う蝕処置が算定できる。また、多数歯にう蝕があり、咬合維持のため治療が後になる場合の暫間充填も適用になる。レセプト摘要欄に算定月日とその旨を記載する。

初日の下顎に対するラバー加算は、覆罩という「処置」に対する加算として算定している。歯冠修復・欠損補綴時のラバー加算は、臼歯部の単純窩洞に限られるため、この症例では算定要件を満たしていない。ちなみに、3 4に即時充填形成（120点）をして充填してもよいが、充填の場合は浸潤麻酔が算定できなくなる。う蝕処置→覆罩→KPと充填との差は①窩洞形成が必要な部位が臼歯部か否か②単純窩洞か複雑窩洞か——で点数の差が伸縮する。

そのほか、7月31日の2種類のダツリ再セットは、補管のしぼりによって算定が変わるという例である。CKの再セットは、装着料と装着材料料が算定できる。レセプトの「歯冠修復および欠損補綴のその他欄」に「再装45×1」と記載する。補管中のダツリ再セットは、装着材料料だけの算定となり、手間だがレセプト摘要欄には「補管算定〇月〇日、FCK再装着2007年7月31日」と記載する。

初日の処置が覆罩までなので、ラバー、浸麻は算定できる。

摘要欄に「7月25日暫間充填」と記載する。除去後の暫間充填（う蝕処置）の点数は算定できない。

除去後に行う感根処に麻酔・薬剤料は含まれる。

ポストが根管の1/3以上であれば除去料は50点になる。CKとポストの同日除去はもとより、異日に除去しても主たる除去料しか算定できない。

軟化象牙質の除去や再形成は算定不可。

部位	傷病名	診療開始日
<u>3 4</u>	C <sub>2</sub>	平成19年7月25日
<u>6</u>	Per	平成19年7月25日
<u>7</u>	FCKダツリ, C <sub>1</sub>	平成19年7月31日
<u>5</u>	CKダツリ, C <sub>1</sub>	平成19年7月31日
〔年齢〕 45歳, 男性		
〔主訴〕 歯がしみて咬めない		
〔所見〕 <u>3 4</u> にう窩, <u>6</u> 根尖に嚢胞を認める		

月日	部位	療法・処置	点数
7/25		初診	180
	<u>3 4</u>	X-Ray(D) 1 F	48
		<u>3</u> 遠心, <u>4</u> 近心にう蝕を認む。	/
		冷水痛(+), 温水痛(-)	/
		口衛指(文書提供, 添付)	100
		ラバー	10
		浸麻(OA+2%キシロカイン1.2ml) (23+7)	30
		軟化象牙質除去	/
		PCap(ダイカルセメント) (25×2)	50
		う蝕処置 (16×2)	32
		<u>6</u> 処置優先のため <u>3 4</u> を暫間充填	/
	<u>6</u>	X-Ray(D) 1 F	48
		ポストは口蓋根1/3超, 根尖に嚢胞が見られる	/
		浸麻(OA+2%キシロカイン1.8ml)	/
		CK除去	/
		ポストコア除去	50
		ラバー	10
		感根処	410
		EMR(BM20mm, BD21mm, P20mm) (30+15×2)	60
		X-Ray(D) 1 F	38
		根尖までリーマの到達を確認	/
		根貼(FC)	/
		仮封(EZ)	/
7/31		再診	38
		ラバー	10
	<u>6</u>	根貼(FC)	28
		仮封(EZ)	/
	<u>3</u>	KP	68
		EE・EB	43
		光CR充(D, L) (100+28)	128
	<u>4</u>	KP	68
		EE・EB	43
		光CR充(M, O) (100+28)	128
	<u>5</u>	軟化象牙質除去	/
		再形成	/
		CK再set	45
		接着材料II(グセ)	12
	<u>7</u>	軟化象牙質除去	/
		FCK再set(補管中)	/
		接着材料I(レセ)	16
		実地指	80
		スクラビング法の指導を指示	/
〔7月分 2日分 1,773点〕			